

ワークショップ  
21世紀の人文知とは  
—世界の古典学から考える  
*The Humanities in the 21<sup>st</sup> Century:  
Classical Studies in and for the World*

日時：2019年6月23日（日）9:00～17:30

会場：早稲田大学戸山キャンパス33号館第10会議室

使用言語：日本語、一部英語（通訳あり） 事前申込：不要

日本、東アジア、インド、ペルシア、ヨーロッパ。世界の各地域の古典学の立場から21世紀の人文知を考え、討論するワークショップ。

パネル1：古典学の現状と未来  
パネル2：世界の古典学の比較研究の可能性  
パネル3：現代における古典・古典学の役割  
ラウンドテーブルディスカッション

WIEBKE DENECKE

（ボストン大学・高麗大学校）

河野貴美子（早稲田大学）

荒木浩（国際日本文化研究センター）

小倉 智史（東京外国語大学）

河野至恩（上智大学）

庄子大亮（関西大学）

沈慶昊（高麗大学校）

SUNIL SHARMA（ボストン大学）

竹村信治（広島大学）

渡邊顕彦（大妻女子大学）

MICHAEL WATSON（明治学院大学）

山本登朗（元関西大学）

主催：早稲田大学日本古典籍研究所

共催：スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点

早稲田大学総合人文科学研究センター 角田柳作記念国際日本学研究所

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（C）16K02376）

ボストン大学、世界言語・文学部

高麗大学校漢字漢文研究所

協賛：早稲田大学総合研究機構

問合せ先：河野貴美子 kono@waseda.jp